



天気がよい中でバーベキューは最高

夏 第20回ジャンボ肉まつり in たじり の終わりの暑い、熱〜い一日(田尻)

8月26日、加護坊山山頂東側キャンプ場を会場に、「第20回ジャンボ肉まつり in たじり」が開催されました。

当日は天候に恵まれ、家族連れ、友人同士、仕事仲間など、約4,500人が会場を訪れ、照りつける太陽の下、額に汗を浮かべながら、田尻産のおいしい牛肉や豚肉、新鮮な野菜に舌鼓を打ちました。ステージでは、地元出身歌手やダンスサークルによる歌や踊りなどが披露され、チアダンスでは観客も一緒になっておどりで出すほどの盛り上がり。皆さん、夏の終わりを大いに楽しんだことでしょう。



ギター 梅村 広明さん(左)、尺八 丹野 良作さん(中央)
ギター 熊谷 渉さん(右)

三本木総合支所ロビーコンサート いやしの音楽が庁舎に流れる(三本木)

三本木総合支所では、1階エントランスホール(玄関ホール)を有効に活用してもらうため、7月から市民に無料で提供しています。8月31日には、ギターと尺八の競演によるコンサートが開催され、訪れた人たちは美しい音色に酔っていました。今後も月に1回程度でコンサートが予定されています。また、写真や絵画などの展示の場としても利用いただけます。皆さんの活動の発表の場として、ぜひご活用ください。【今後の予定】10月30日(火) 大正琴の演奏、11月30日(金)「古川マンドリンクラブ」による演奏

9月9日、古川総合体育館を会場に宝くじスポーツフェア「はつらつまママさんバレーボール in おおさき」が開催されました。東京オリンピック金メダリストの河西昌枝さんをはじめ、中田久美さんら往年の名選手でつくるドリームチームが来場し、大崎市選抜チームと試合を行ったほか、バレーボール教室を通じて市内のママさんバレー選手と交流しました。名選手から指導を受けるとあって、教室に参加した皆さんは真剣そのもの。時には笑顔もあふれる厳しくも暖かな指導を受け、皆さん終始感激の様子でした。

名 はつらつまママさんバレーボール in おおさき 選手によるバレーボール教室 (古川)



スター選手を前にみなさんうれしそうです

9月9日、鹿島台地域広長地区の宮の沢ため池で、地域の人など約60人が参加して「池干し」が行われました。次代を担う子どもたちに、地域の環境を自ら守る気持ちをばぐんとほしいと、広長子ども会育成会がシナイモツゴの会などの協力で行ったもので、魚類調査の結果、ブラックバスが191匹、フナ類が8匹で、この日はシナイモツゴやゼニタナゴは確認できませんでした。子どもたちはシナイモツゴがいなくて残念そうでしたが、これからシナイモツゴの住める環境を作ろうと感想を話してくれました。

泥 子ども会育成会で魚類調査とブラックバス駆除 んこまみれで「池干し」(鹿島台)



魚類調査中。シナイモツゴが見つけれず残念そう。



ちびっこ政宗隊。カッコいいね!

歴 第44回正宗公まつり 史のまちで大崎の一体感が醸成(岩出山)

9月8日・9日の2日間、「第44回正宗公まつり」が開催されました。8日の宵まつりでは、華やかな踊りとみこしのパレードが行われ、また、9日の本まつりでは、きらびやかな甲冑に身を包んだ約1,000人の勇壮な伊達武者行列が街を練り歩き、沿道を埋め尽くした観客を魅了しました。

今年の武者行列には古川地域の稲葉先陣大名行列保存会と松山地域の金津流獅子躍りも参加。歴史ある祭りの中でも地域の枠を超えた交流が行われるなど、大崎市の一体感が強まってきたことを再認識したお祭りでした。



コスモス園に華麗な歌声が響きます

まつやまコスモスまつり フランク永井のヒット曲が響く(松山)

9月8日から松山地域御本丸公園のコスモス園が開園し、15日・16日の2日間「まつやまコスモスまつり」が開催されました。当日は、大正11年から昭和4年までの間旧松山町を往来していた人車が復活し、色とりどりの美しいコスモスが咲き誇る園内を、お客さんを乗せゆったりと走りました。また、16日には「フランク永井のヒット曲を唄う」と題した歌謡ショーが行われ、市内外から18人が参加し自慢の歌声を披露しました。曲に聞き入る人、口ずさむ人、それぞれが初秋の1日を楽しんでいました。



こけしを選びながら工人と会話ができるのも魅力のひとつ



威勢のよいみこしが広場に来ると熱気は最高潮!

鳴 第53回全国こけし祭り 子の魅力がたっぷり! (鳴子温泉)

9月1日・2日の両日、鳴子温泉地域で「第53回全国こけし祭り」が開催されました。

こけしの展示・即売会場の鳴子小学校では、出展されているこけしを買い求める人たちにでぎわい、中にはお目当ての作品を手に入れるために何日も前から並んでいる人もいました。こけし工人による実演展示即売コーナーもあり、匠の技にお客さんは興味津々。工人と会話をしながら、楽しい時間を過ごしました。同会場では「第17回鳴子漆器展」も開催され、鳴子の漆器職人の作品がずらりと並び、訪れた人たちはこけしと漆器という伝統工芸に魅了されていました。

夜には、鳴子温泉街でフェスティバルパレードが行われ、ミスこけしを先頭にした婦人会の鳴子踊り、子どもたちのこけしみこし、鳴子神輿会を中心とした迫力満点の提灯みこし4基が練り歩きました。また、鳴子温泉駅前湯めぐり広場でのこけし囃子コンテストでは、参加チームが多彩なパフォーマンスを繰り広げ、パレードとともにこけし祭りの夜を盛り上げました。